



1 月度 地域別部会

シェアリング時代の 知財制度・知財マネジメント



2019年度 マネジメント第2委員会・第1小委員会



メンバー紹介



本日の
報告者

小委員長

前川 武之 : 三菱電機 (株)

小委員長補佐

福井 誠司 : (株) パスコ
<現: セコム (株) >

委員

和泉 恭子 : 富士通 (株)
牛嶋 隆雄 : (株) デンソーウェーブ
芝山 みゆき : (株) ニコン
妹尾 裕章 : クラリオン (株)
<現: フォルシアクラリオン (株) >
高井 学 : 日清オイリオグループ (株)
竹内 俊樹 : サトーホールディングス (株)
野村 滋郎 : (株) NTTドコモ
平島 吉朗 : 本田技研工業 (株)
船瀬 和記 : パナソニック (株)





本日の報告内容 『3つ』

1. シェアリングエコノミーってなに？

知財視点の検討課題を抽出！

2. 知財制度面で何かできない？（課題1）

シェアリングエコノミーの発展に必要な知財政策・制度とは・・・

3. 我々、知財部門はどうしたらいいの？（課題2）

従来ビジネス事業者がシェアリング事業者と協調できる知財マネジメントとは・・・

◆ 仮説検討

◆ ヒアリング実施

① 政府／シェアリングエコノミー協会※

② シェアリング事業者

③ 従来ビジネス事業者(我々)



提言 & まとめ





1. シェアリングエコノミーってなに？



Uber
Technologies

世の中では、シェアリングが
流行っている・・・

Airbnb



Docomo
Bike Share





1. シェアリングエコノミーってなに？

人々の価値観
変化

所有(モノ)から体験(コト)へ

社会の変化

有限な資源の有効活用
持続可能な世界(SDGs)

国や自治体の
動き

地方創生・地域共助

“シェアリングエコノミーの出現”

『**個人等が保有**する活用可能な資産等(スキルや時間等の無形のものを含む)を**インターネット上のマッチングプラットフォームを介して**他の**個人等も利用**可能とする**経済活性化活動**』(内閣官房 情報通信技術 (IT) 総合戦略室 シェアリングエコノミー検討会議 第2次報告書)

車持ってるけど
乗る暇がないなあ

保育士だけど、
正社員で働くの
は難しいなあ

普段使わない
別荘があるけど

提供者



資産等



[シェアリング事業者]

Platform

利用者



たまには車を
使いたいけど、
維持費がなあ

子どもが小さくて、
自分の時間が・・・

ホテルより別荘に
泊まってみたい！

対価 ¥

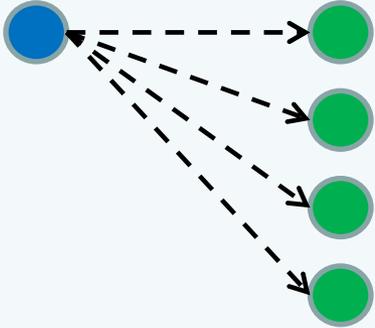
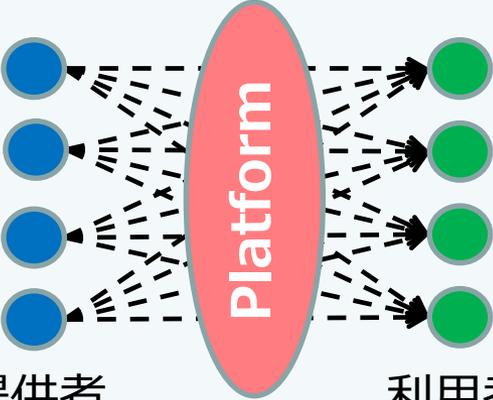
C to B to C





1. シェアリングエコノミーってなに？

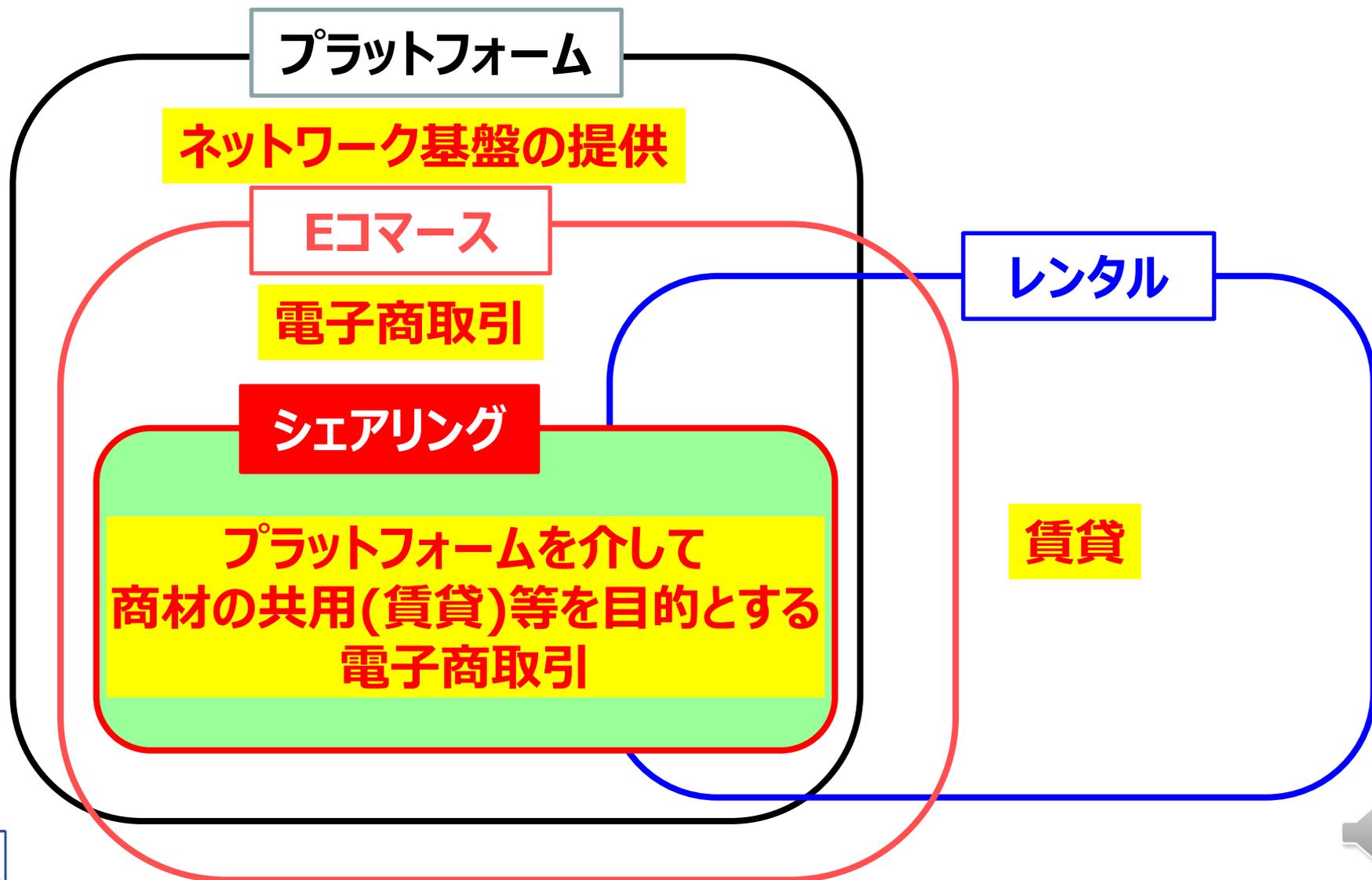
“レンタル”と“シェアリング”の違い

	レンタル	シェアリング
取引参加数	1 : 多	多 : 多
主な取引者	企業 : 個人	個人 : 個人(不特定多数)
主な取引対象	貸出専用の商品	遊休資産 (ネットやスマホの普及により、これまで見えなかった個人のモノや空間などの資産が取引対象に)
主な取引形態	貸与	貸与 or 譲渡 (サービスの場合は役務提供)
取引の信用	企業が保証	相互評価により可視化
取引図	 <p>提供者 利用者</p>	 <p>提供者 利用者</p> <p>シェアリング事業者</p>



1. シェアリングエコノミーってなに？

業界内の“シェアリング事業者”の位置づけ (小委員会内での認識)

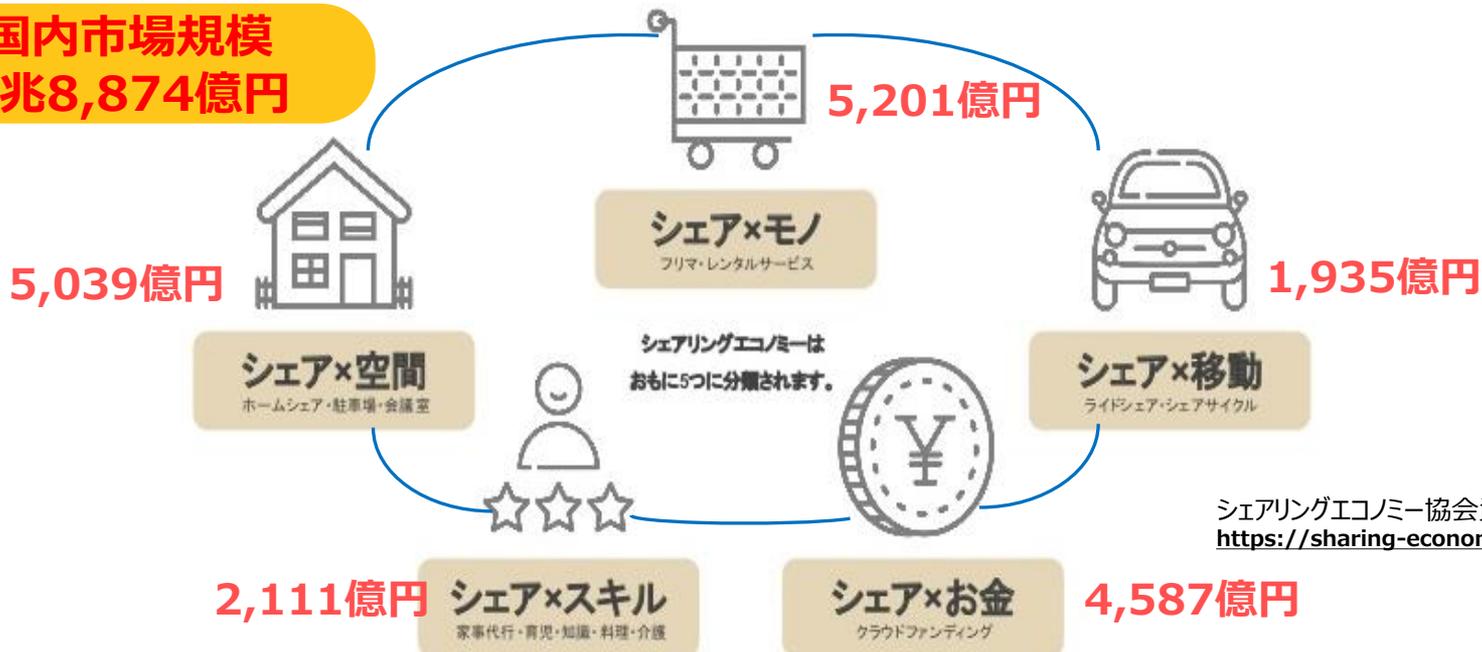




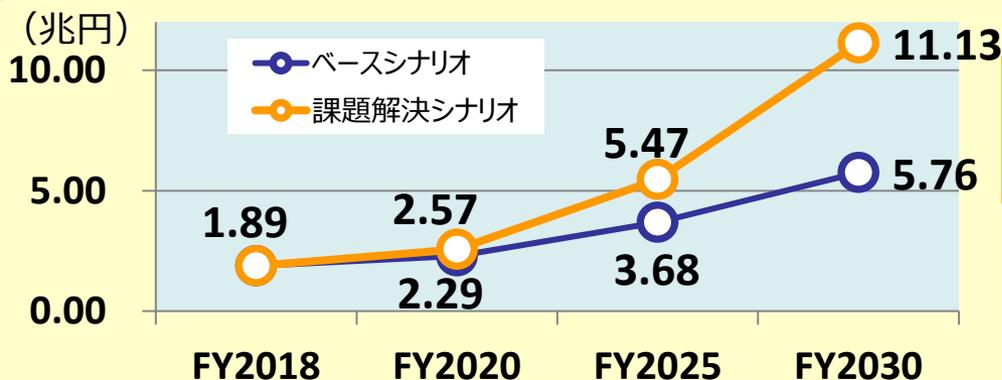
1. シェアリングエコノミーってなに？

シェア（共有）の対象は5類型存在する！

国内市場規模
1兆8,874億円



シェアリングエコノミー協会資料より
<https://sharing-economy.jp/ja/about/>



2030年度の国内市場規模
5兆8千億円～11兆1千億円

<比較(国内市場)@2019年>

製薬	11兆4千億円
コンビニ	5兆4千億円

✓シェアリングエコノミーの普及・市場規模は今後も拡大





◆知財視点の検討課題を抽出！

人々の価値観
変化

社会の変化

国や自治体の
動き

想定し得る懸念

ブランド価値毀損



従来ビジネス事業者の 顧客減少

訴訟リスク、模倣品流通拡大



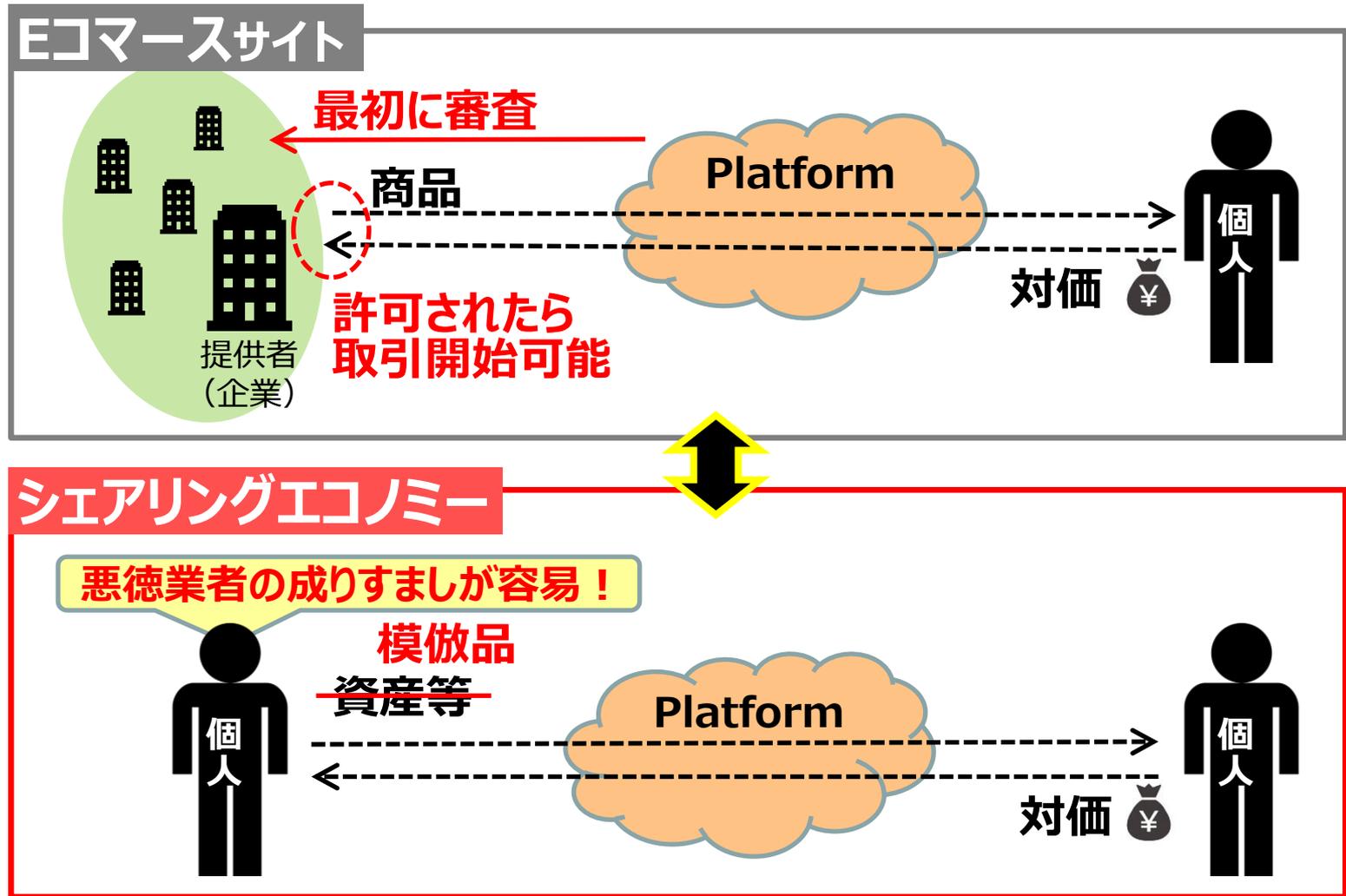
課題 1: 知財制度面で何かできない？
 シェアリングエコノミーの発展に必要な
 知財政策・制度とは？

課題 2: 我々、知財部門はどうしたらいい？
 従来ビジネス事業者がシェアリング事業者
 と協調できる知財マネジメントとは？



2. [課題 1] 知財制度面で何かできない？

◆ 課題の提起：Eコマースサイトとシェアリングエコノミーの違い



悪徳業者が個人に成りすまし模倣品を出品⇒ 個別事業者対応では限界!



2. 知財制度面で何かできない？ (ヒアリング)

◆内閣官房・協会・関連事業者へのヒアリング

質問事項	内閣官房 IT総合戦略室 (シェアリングエコノミー促進室)	シェアリングエコノミー 協会	シェアリング事業者
知財課題 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 認識はしているが、 具体策の検討無し 	<ul style="list-style-type: none"> 認証制度※において 知財視点の検討無し 	<ul style="list-style-type: none"> 模倣品は、これから専門 チームによる対策を検討
知財課題への 対策について コメント	<ul style="list-style-type: none"> 個人間の争いも多く、高額な 訴訟費用を掛けることが困難 ODR (Online Dispute Resolution) など、オン ラインで解決が出来るような 仕組みが今後有用になって くるかもしれない 	<ul style="list-style-type: none"> 模倣品対策のリソース が無い 大企業による協力や 提携があると助かる 	<ul style="list-style-type: none"> 最近は非常に精度の高い 模倣品が多い 真贋判定システムがあると 嬉しい

※認証制度・・・政府がモデルガイドラインとして策定した「遵守すべき事項」を基に、シェアリングエコノミー協会が設定した自主ルールに適合していることを示す制度

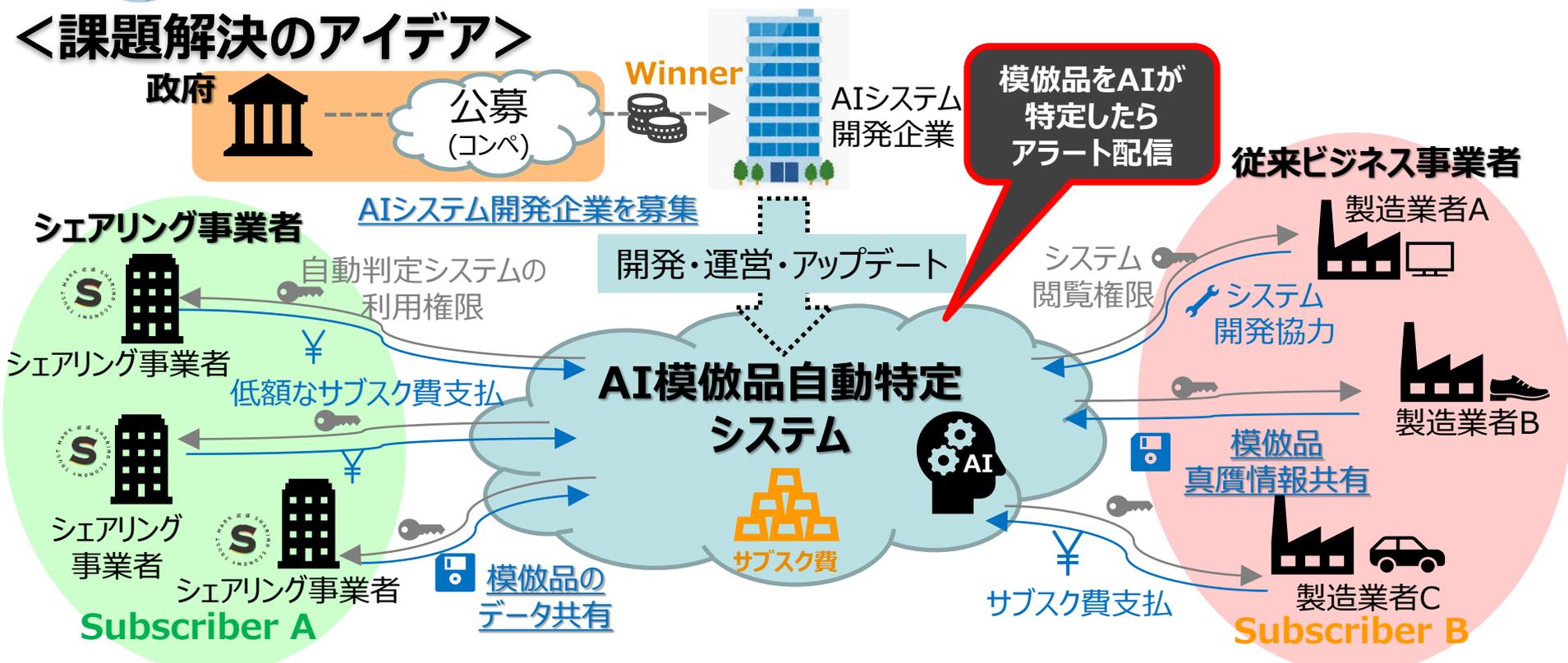
- いずれの関係者も、「**知財課題に対する具体的な対策は今後検討予定**」との立場
- 模倣品対策等の知財課題については、**オンラインで解決できるシステムの構築**や
既存企業(製造業者)も協力する形での解決を望む声が多い

関係者が情報を共有しながら課題を解決できる仕組みの構築が必要!



2. 知財制度面で何かできない？ (提言)

<課題解決のアイデア>



	役割	メリット
政府	AIシステム開発企業を募り、運営を主導	シェアリングエコノミーの普及拡大
シェアリング事業者	サブスクリプション費支払、模倣品データの共有	低額なサブスクリプション費で模倣品特定システム利用
従来ビジネス事業者	サブスクリプション費支払、模倣品・真贋情報共有	自社模倣品特定の負担軽減、ブランド保護

政府・シェアリング事業者・従来ビジネス事業者で負担シェア、模倣品自動特定システムを運営

⇒ 模倣品撲滅、紛争を未然に防ぐ!!

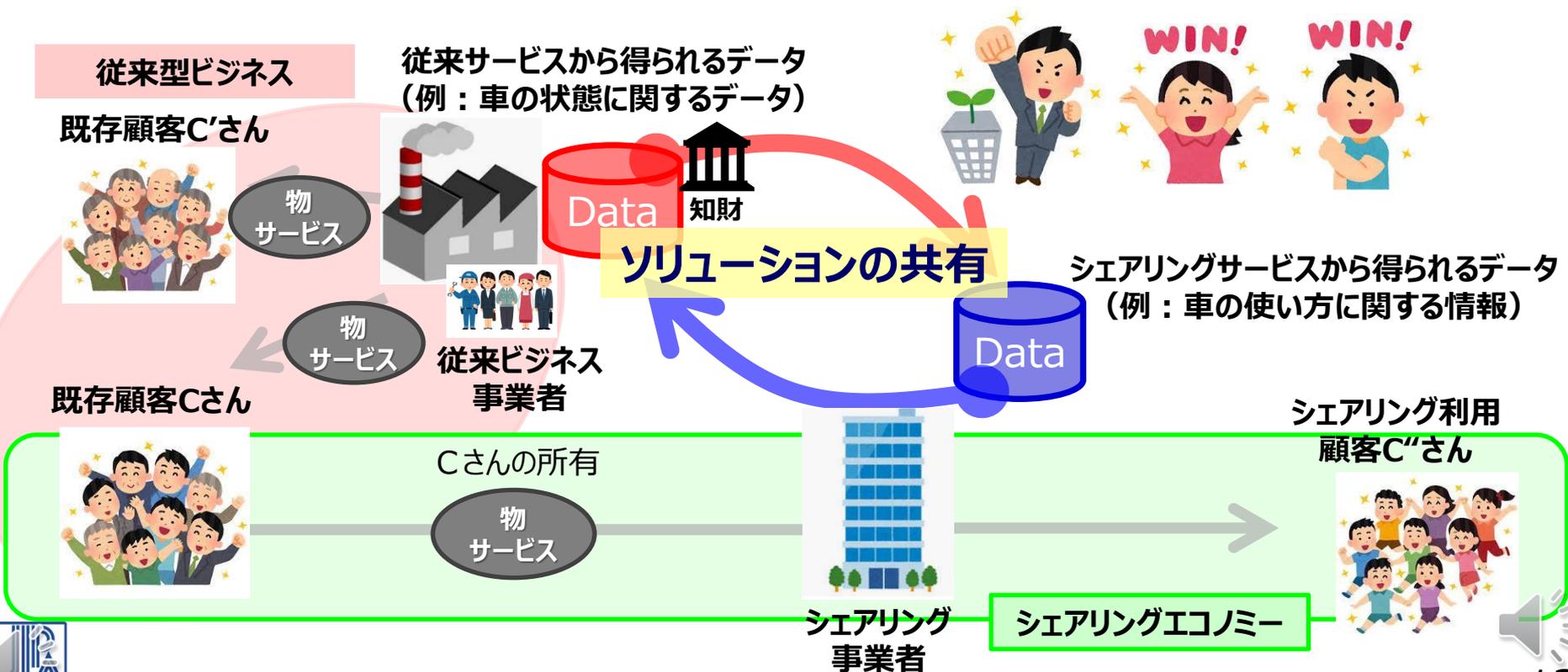




3. [課題 2] 我々知財部門はどうしたらいい？

C (遊休資産提供者) **to B** (シェアリング事業者) **to C** (遊休資産利用者)のシェアリングエコノミーにおいて
従来ビジネス事業者がシェアリング事業者と協調できる知財マネジメントとは？

仮説：従来ビジネス事業者(製造業・非製造業)はシェアリング事業者と、データや知的財産を含むデータソリューションを共有することで、事業の拡大・成長を見込めるのではないか



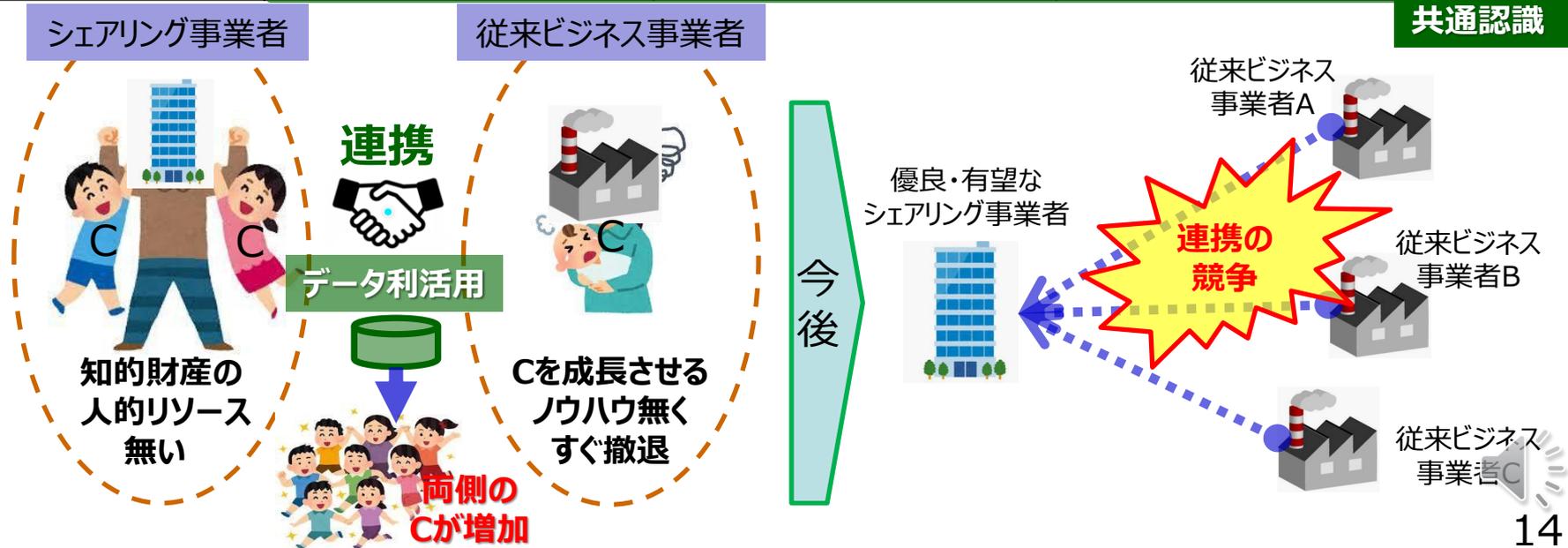


3. 我々、知財部門はどうしたらいい？ (ヒアリング)

◆シェアリングエコノミー協会・双方事業者へのヒアリング

質問事項	シェアリングエコノミー協会	シェアリング事業者(1社)	従来ビジネス事業者(2社)
シェアリング事業者の知財意識は？		<ul style="list-style-type: none"> 知財の重要性は意識 人的リソースが少ない 	<p>シェアリング事業者の課題</p>
シェアビジネス単独参入の現状は？	<ul style="list-style-type: none"> 従来事業者は提供側C増のノウハウが無く、単独参入しても撤退 	<p>従来ビジネス事業者の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市場規模が小さい シェアリングを意識したモノづくりが必要
シェアリングを成功させるには？	<ul style="list-style-type: none"> C2B2Cにおいて、両側のCを増やす 両側のCを増やすには、データを活用した新サービスの創出・利便性向上が必要 		<p>共通認識 シェアリングの特徴</p>
従来事業者とシェアリング事業者の連携の動きは？	<ul style="list-style-type: none"> 連携がトレンド 	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決に必要ななら連携する 	<ul style="list-style-type: none"> 連携は新たなチャンス 仲間づくりの特許取得

共通認識





4. まとめ

- 日本におけるシェアリングエコノミーはまだ黎明期
シェアリング事業者はスタートアップ企業が多く、
政府・関連団体も含め、知財への意識はまだ高くない
- 更なるシェアリングエコノミー拡大を見据え、2つの知財課題を抽出 ⇒ 制度面・知財マネジメント面から提言

① 模倣品やブランド毀損、知財紛争の増加

提言

AI模倣品特定システムを導入(関係者間で情報共有)
→ **模倣品撲滅、知財紛争の未然防止!!**

② シェアリング事業者と協調できる知財マネジメント

提言

連携前：提携(連携)競争に勝つための仕込みの特許出願
連携後：データソリューション・ビジネスを視野に入れ、シェアリング事業者のリソースをカバーする知財活動



ご視聴ありがとうございました
「知財管理」2021年1月号に掲載

シェアリングエコノミーで
みんなが“シェアわせ”になれますように

お問い合わせ先：

三菱電機株式会社 前川武之 Maegawa.Takeyuki@ak.MitsubishiElectric.co.jp

～世界から期待され、世界をリードするJIPA～

